平成１８年度理学部事業計画

文責：八杉満利子

平成 17 年 12 月 17 日

1　理学部（理学研究科を含む）の部目標

1. 新指導要領による教育を受けた

入学者への対応

基礎科目の内容の充実

（内容・教授方法）

注：　M：入門科目新設予定
P：後述（現在非常勤申請予定
C：学科でテキスト作成済み

2. 学生の学習意欲の向上と進路支援
3. 各学科・研究科各専攻の発展

2　平成１８年度理学部全体の事業

1. 教員と学生のコミュニケーションの場：

ブレイクタイムの充実

科目にとらわれない問題の解法

特別研究の成果のデモ

講義等についての学生からの意見・質問等

↓

コーヒーとプレゼン機器を！

2. 基礎科目のチュートリアル制度：

立ち上げのための調査

授業外に各自のペースで質問できる工夫を

↓

調査費

3　数理科学科・数学専攻

1．基礎科目の充実と応用の充実

多様化する学生のニーズに対応

理論的思考を醸成する基礎科目の充実

（学科内で）

応用科目の充実（非常勤申請を含む）

2．進路支援

教員志望者支援

模擬試験・研究会開催等

↑

学内GPの支援

3．大学院生向けのセミナーの立ち上げ

他大学の研究者との交流

↑

科研費

4　物理科学科・物理学専攻

1．教育・研究用天文台：

設置のための調査

伝統の保持と研究・教育・地域社会への
サービス

詳細は後程

↓

調査費

2．基礎物理学の充実・新教授法導入

多様化する学生への対応

↓

基礎教育のスペシャリストを客員教授に

（現在非常勤を申請予定）

5　コンピュータ科学科

１．　デジタルコンテンツコンテスト

現代社会のニーズに応えるように

詳細は後程

↓

合宿費・賞金

注：基礎科目充実はすでに計算機関係基礎科目用テキスト作成